同窓会入会式

263人が新たに仲間入り

令和4年度同窓会入会式が2月28日、母校体育館で行われ、卒業生263人が新たに会員となった。毎年、卒業式前日に行われる入会式。過去2年は新型コロナウイルス感染予防のため、県外で国公立大学の前期試験を受験した生徒の待機期間を考慮し、卒業式を3月3日に行ったため3月2日に実施されたが、今年は3年ぶりに例年通りの日程で行うことができた。

初めに銭谷眞美会長が、「高校3年間に何かしら心に残る経験があったと思う。思い出を大切に、選んだ道を堂々と歩んでいってほしい」と歓迎の辞を述べた。

同窓生代表として挨拶に立ったのは、武藤工芸鋳物の専務取締役、武藤元貴さん（平成20卒）。高校時代から地域の活性化や、竿燈祭りに熱中、東京農工大学大学院では稲作地帯の副産物である稲わらのエネルギーへの活用について研究した。東京でも地域の盛り上げに携わろうとイベント会社などで働いた後に帰郷。今は鋳物の技術で社会に貢献するため日々研鑽を重ねている。

銭谷眞美会長

武藤さんは東京で年1回行われている秋高同窓会に出席した時のことに触れ、さまざまな業界の先輩の話を聞くことができたのは貴重な体験だったと述べ、「転職の時も、『ちょっと働いてみるか』と声を掛けていただいたり、たいへん恩を受けた」と、同窓会の人脈が人生の節目で役立った自身の経験を紹介した。

武藤元貴さん

さらに「先輩から受けた恩を先輩に返そうとしても若輩者の自分にできることなど限られている。それよりも、同窓会には毎年新しい後輩が入ってくるのだから、先輩から受けた恩は後輩に送ることによって返そうと思った」と述べ、先輩から後輩へと「恩送り」をしていこうと呼び掛けた。

八塚凛奈さん

続いて、銭谷会長から記念品を受け取った新入会員代表の八塚凛奈さんは、「この3年間は、常にコロナウイルスに翻弄された日々だった」と多くの学校行事が中止され、友達付き合いやクラブ活動すらままならなかった高校生活を振り返りつつ、「秋田高校の卒業生であることを誇りに思い、同窓会員として活動に参加していきたい」と決意を述べた。

最後に、過去3年の入会式では歌うことができなかった校友会歌を、マスクをしたままではあったが、応援団OB会紫紺の会のリードで歌うことができた。生徒や教職員だけでなく同窓会関係者も感激ひとしおであった。

新生若菜会

～ 初の通常総会のお知らせ ～

秋高女子卒業生の会である若菜会は、2020年に新たなスタートを切りました。創立150周年の今年、コロナ禍のため見送られてきた通常総会を再発足後初めて開催します。多くの女子卒業生に参加していただけるよう同窓会総会の日の午前11時30分から行うことにしました。総会後、軽食を取りながら情報交換会を行います。

・日　　時　令和5年6月18日（日）
　　午前11時30分～
・場　　所　秋田キャッスルホテル
・会　　費　2，000円（当日徴収。資料代、通信費、軽食代を含みます）
・そ の 他　記念写真は希望者のみ
　　別途1，000円で申し受けます。（当日徴収）
・申　　込　この「同窓会だより」に同封している同窓会総会出欠はがきの若菜会の欄に記入してお申し込みください。
　　同窓会総会申し込みと同様、FAX、Eメールでの申し込みも受け付けます。

若菜会は秋高女子卒業生の会です。お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。午後からの同窓会総会も皆さまご一緒に、ぜひご参加を!

令和5年度総会 ～ 6月 18 日に開催 ～

令和5年度通常総会・講演会並びに4年ぶりとなる懇親会を下記により開催します。

・日　　時　令和5年6月18日（日）
・場　　所　秋田キャッスルホテル
　　秋田市中通1-3-5　電話 018-834-1141
・総　　会　午後2時～
　　議題　令和4年度 決算・事業報告
　　令和5年度 予算・事業計画
　　創立150周年記念事業ほか
・記念講演　午後3時30分～
　　演題　**『汝、何のためにそこにありや』**
　　講師　佐々木広人氏（平成2卒）
　　編集者／㈱キュービック エディトリアルデスクGM／専修大学文学部講師／アサヒカメラ元編集長／AERA dot.元編集長
　　・YouTubeで生配信予定（同窓会ホームページから視聴可）
・懇 親 会　午後4時40分～
・会　　費　6,000円　当日会場でいただきます。
・申　　込　ご出席の方は、今号の同窓会だよりに同封の出欠はがきに必要事項を記入の上、63円切手を貼り、6月8日までに到着するよう同窓会事務局にお送りください。FAX、Eメールでのお申し込み、同窓会ホームページの「連絡フォーム・行事連絡（総会出席のお届け）」もご利用ください。

［同窓会事務局］
ＦＡＸ 018-832-9588　　E-mail：aki-doso@cna.ne.jp